

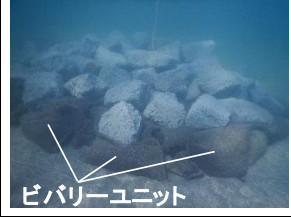




鉄鋼スラグを活用した藻場再生「海の森づくり」、今年度は全国 21 カ所で実証試験開始

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、磯焼けの原因の一つとされる鉄分不足^{※1}の解消による藻場の再生・回復を通じた、生物多様性保全と地球温暖化防止への貢献に向け、鉄分を供給する鉄鋼スラグ製品「ビバリー[®]ユニット」を実海域に設置する取り組みを行ってきました。本年 2023 度は、新規 15 カ所を含めた合計 21 カ所^{※2}の漁業協同組合や自治体と協業し、実証試験を開始します。

昨年 2022 年度は、北海道（増毛町、泊村、古平町、鹿部町）、宮城県（女川町）、三重県（志摩市）の 6 カ所の海域でビバリーユニットを施工しました^{※3}。各海域の漁業協同組合の方々から「全体的に藻場の状態が良くなり、ビバリーユニットの効果を認識した（北海道鹿部町）」、「施肥を行わなかった対象区と比較し、明らかに繁藻している（三重県志摩市）」、「ウニやアワビの実入りが良くなった（宮城県女川町）」などの声が寄せられており、繁藻を確認することができました。

【2022 年度に施工実施した海域の事例】

| | 施工直後（2022/10） | 今年春（2023/5） | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 【北海道鹿部町の事例】 ～鹿部漁業協同組合と共同～ |  <p>ビバリーユニット</p> |  <p>コンブ等が繁藻</p> |  <p>繁藻したコンブ</p> |
| 【三重県志摩市の事例】 ～三重外湾漁業協同組合と共同～ |  <p>ビバリーユニット</p> |  <p>アラメ等が繁茂</p> |  <p>アラメ等が繁茂</p> |

※鹿部町の写真撮影：矢口港湾建設ヤグチダイバー株式会社

今年度施工する 21 カ所の海域では、鉄分施肥材の設置前後での海水中の鉄分濃度の変化、海藻の成長の継続的な状況調査を行うことで基礎データを集積し、更なる藻場造成促進を図っていく予定です。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）にも合致した活動（「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」）を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

※1 磯焼けの原因の一つとされる鉄分不足：

海藻のライフサイクルにおける成長（配偶体・孢子体の成熟）には、Fe イオンが必要であることが知られています。日本の沿岸海域で過去数十年にわたり進行している「磯焼け」は、Fe イオンをはじめとする栄養塩の不足が原因の一つとされています。

※2 今年 2023 年度に施工実施した 21 カ所の概要（予定も含む、★印は新規協業先 15 カ所）

| 都道府県 | 場所 | 協業先 | 施肥量 | 施工完了時期 |
|------|---------|--------------------------|----------------|-----------|
| 北海道 | 増毛郡 増毛町 | 増毛漁業協同組合 | 50 トン | 2023年10月 |
| | 古宇郡 泊村 | 古宇郡漁業協同組合 | 33 トン | 2023年11月 |
| | 古宇郡 古平町 | 東しゃこたん漁業協同組合 | 15 トン | 2023年10月 |
| | 鹿部町 | 鹿部漁業協同組合 | 30 トン | 2023年10月 |
| | 八雲町 熊石 | ★ ひやま漁業協同組合 | 5 トン | 2023年11月 |
| | 森町 | ★ 森町、砂原漁業協同組合 | 16 トン | 2023年10月 |
| | 森町 | ★ 森町、森漁業協同組合 | 15 トン | 2023年10月 |
| | 函館市 | ★ 戸井漁業協同組合(本所地区) | 5 トン | 2023年9月 |
| | 函館市 | ★ 南かやべ漁業協同組合(尾札部支所、川汲支所) | 10 トン | 2023年9月 |
| | 函館市 | ★ えさん漁業協同組合(楸法華支所) | 20 トン | 2023年10月 |
| 宮城県 | 女川町 | 宮城県漁業協同組合 女川町支所 | 40 トン | 2023年9月 |
| 千葉県 | 君津市 | ★ 千葉県漁業協同組合連合会、君津市 | 人工石、カルシウム改質土活用 | 2023年8月 |
| 三重県 | 志摩市 船越浜 | 三重外湾漁業協同組合、船越漁業権管理委員会 | 32 トン | 2023年10月 |
| 和歌山県 | 那智勝浦町 | ★ 紀州勝浦漁業協同組合、那智勝浦町 | 10 トン | 2024年2月予定 |
| | 那智勝浦町 | ★ 宇久井漁業協同組合、那智勝浦町 | 10 トン | 2023年11月 |
| | 那智勝浦町 | ★ 和歌山東漁業協同組合那智支所、那智勝浦町 | 10 トン | 2023年11月 |
| | 那智勝浦町 | ★ 和歌山東漁業協同組合浦神支所、那智勝浦町 | 10 トン | 2023年12月 |
| | すさみ町 | ★ 和歌山南漁業協同組合、すさみ町 | 10 トン | 2023年11月 |
| 兵庫県 | 南あわじ市 | ★ 南あわじ市 | 人工石活用 | 2023年11月 |
| 福岡県 | 福岡市 | ★ 博多湾漁業権管理委員会 | 6 トン | 2023年12月 |
| 大分県 | 佐伯市 | ★ 大分県漁業協同組合 上入津・下入津支店 | 28 トン | 2023年12月 |

合計 355 トン

※3：昨年度実施についてのプレスリリース（参考）

[鉄鋼スラグを活用した藻場再生「海の森プロジェクト」、新たに 6 カ所で試験開始 CO2 の吸収・固定が期待されるブルーカーボン効果も検証 \(nipponsteel.com\)](#)

【参考】日本製鉄公式 Youtube チャンネル：ブルーカーボン動画 UMIMORI プロジェクト

<https://youtu.be/Eq7n19kEnK4>

本件に関するお問い合わせ先：総務部広報センター TEL：03-6867-2977